

新庁舎整備を契機とした熊本市のまちづくりを市民の皆様と一緒に考えるために、シンポジウムを開催しました。

■開催概要

- ・日 時：令和7年7月19日（土）14：00～
- ・場 所：熊本城ホール シビックホール
- ・参加者数：約450名

■概要

第1部 基調講演 「個性と活力にあふれたまちづくりをめざして～横浜市の都市デザイン行政 50年間における活動と現状～」

●講演者：国吉 直行氏（横浜市立大学客員教授）

横浜市のまちづくりに50年に亘り携わってこられた経験から、横浜市が東京とは異なる自立した独自のまちづくりに挑戦され、歴史的建造物の活用、景観形成、歩行者空間づくりなどに取り組みれながら、伝統ある地区と新しい地区、それぞれの魅力や個性を活かし、ストーリー性を持ったまちづくりを進めてこられたことや、市庁舎跡地活用などの課題について検討が進む中、市民や企業などで作る「横浜まちづくりラボ」による提案を取り入れながらまちづくりを進めきたこと等について講演された。

第2部 パネルディスカッション 「市民に愛され、世界に選ばれるまちを目指して」

●パネラー：国吉 直行氏（横浜市立大学客員教授）、高島 宗一郎氏（福岡市長）
大西 一史（熊本市長）

星野教授ファシリテーションのもと、国吉氏、福岡の高島市長、大西市長によるパネルディスカッションが行われた。富山市の公共交通を軸としたコンパクトシティの事例や、福岡市による天神ビックバンの経緯や大名小学校跡地利活用など、各都市のまちづくりについてディスカッションがあった。また、熊本市が車から人への転換の先駆けとして、サクラマチ熊本に隣接する全長230m、幅員27メートルの市道を廃止し広場化したことなども話題にあがった。また、熊本市の渋滞対策の必要性についても議論がなされた。

第3部 パネルディスカッション 「様々な視点から見た熊本の魅力と可能性」

●パネラー：瀬崎 公介氏（株式会社シークルーズ代表取締役）、けんさむ氏（ブロガー）
尾道 早織氏（日本航空株式会社熊本支店長）、大西 一史（熊本市長）

星野教授ファシリテーションのもと、熊本市の魅力についてディスカッションが行われた。世界のまちにも劣らない魅力を持った熊本城や食の魅力を活かしたまちづくりの重要性、若手クリエイターの活用、地域資源を活かした民間主体のまちづくりなどが話題に上がった。また、跡地利活用についてスタジアムが例としてあげられ、まちの発展のためには体験型のコンテンツやアクティビティの充実が重要であるという議論がなされた。

新庁舎整備を契機としたまちづくりシンポジウム

DATE
2025 7月19日(土)
開演 14:00 (終演 16:00)

VENUE
熊本城ホールシビックホール

PROGRAM

第1部: 基調講演
個性と活力にあふれたまちづくりを目指して
～横浜市の都市デザイン行政 50年間における活動と現状～

第2部: パネルディスカッション
市民に愛され、世界に選ばれるまちを目指して
都市の魅力や可能性を生かしたまちづくりや展望について語り合います。

第3部: パネルディスカッション
様々な視点から見た熊本の魅力と可能性
熊本の魅力・強み・可能性について語り合います。

基調講演 **コーディネーター** **パネリスト**

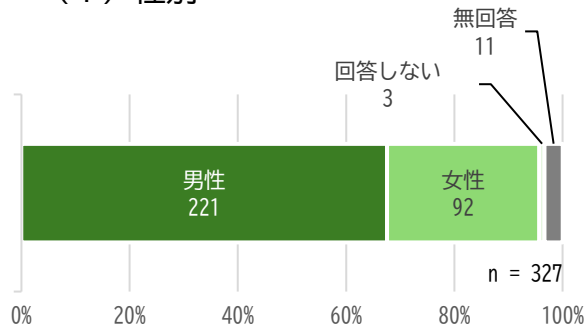
熊本市立大学 客員教授 国吉 直行
熊本大学まちづくり学専攻 都市計画センター教授 星野 裕司
株式会社シークルーズ 代表取締役 瀬崎 公介
ブロガー けんさむ
日本航空株式会社 熊本支店長 尾道 早織
福岡市長 高島 宗一郎
熊本市長 大西 一史

「新庁舎整備を契機としたまちづくりシンポジウム」について

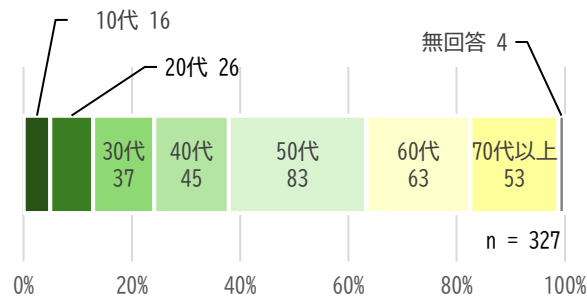
■ アンケート結果概要（回答総数：327）

1 属性

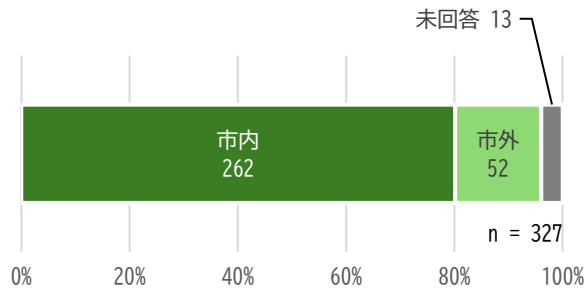
(1) 性別



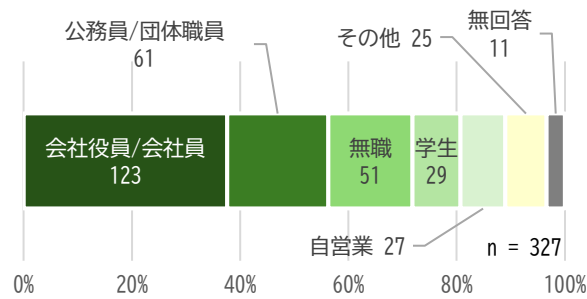
(2) 年代



(3) 居住地



(4) 職業



シンポジウムの様子

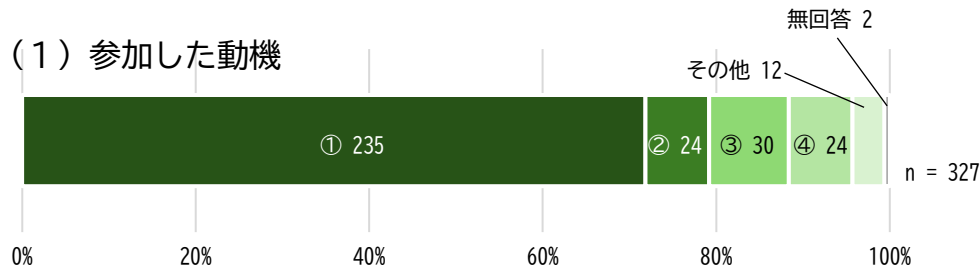


「新庁舎整備を契機としたまちづくりシンポジウム」について

■ アンケート結果概要（続き）

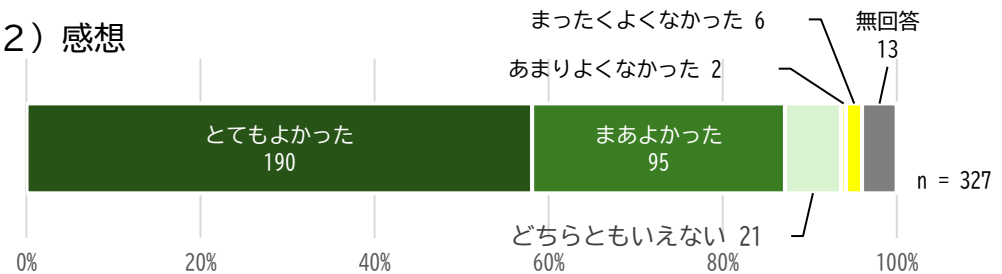
2 シンポジウムについて

(1) 参加した動機



- ① 新庁舎整備を契機としたまちづくりに興味があったから
- ② 自分のビジネスや研究等につながったと思ったから
- ③ パネリストに興味があったから
- ④ 職場、知人等に勧められたから

(2) 感想



【とてもよかった・まあよかった理由】

- ・ 横浜、福岡、そして熊本。それぞれの歴史地理等含め魅力のあるまちづくりの具体的な事例、画像があり理解できた。
- ・ 自分の知らなかった知識をくわしく多角的に知ることができたことが良かった。
- ・ 先進都市の事例とそこに至る経緯、どんな努力があったのかがわかった。
- ・ 今後に期待が持てた。（新しい考え方を表明されたため）
- ・ 多様な考え、案があり、ワクワクする内容だった。
- ・ 思ってもいなかった考え方を知って、自分の思いも広がったので良かったと思う。
- ・ 元々の住民としての視点でしか考えていなかったが、熊本の内外からの意思を知ることができて新鮮だった。「地元の良さを意外と知らない」は今回結構刺さったワードだった。

【あまりよくなかった・まったくよくなかった理由】

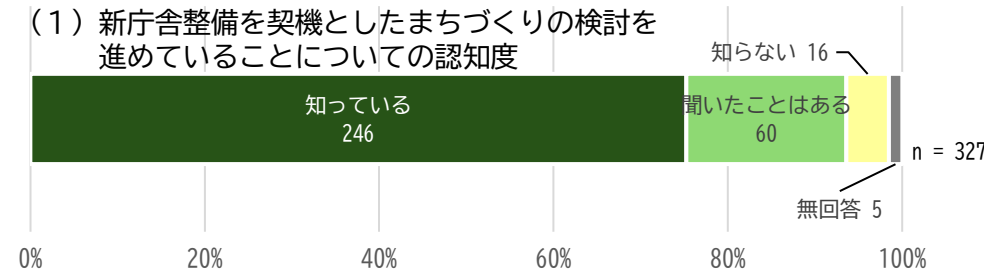
- ・ 物価高で市民生活は困窮していて、まちづくりどころではない。結局ゼネコンを潤す事業で、市民には何のメリットもない。中止すべき。
- ・ 財政面と設計面から説明するべき。市電が赤字たれ流し事業になるのでストップすべき。

「新庁舎整備を契機としたまちづくりシンポジウム」について

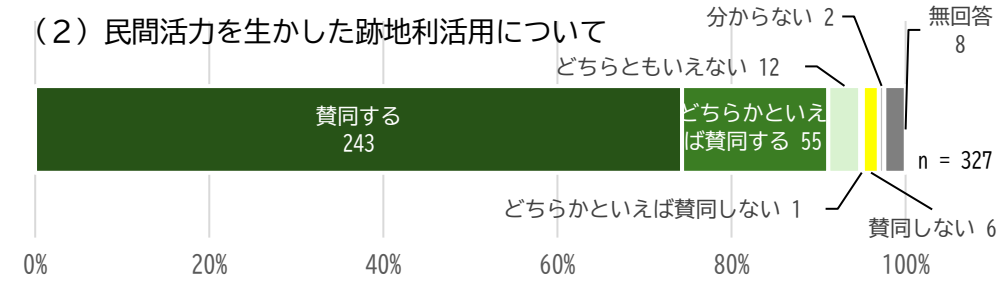
■ アンケート結果概要（続き）

3 新庁舎整備を契機としたまちづくりについて

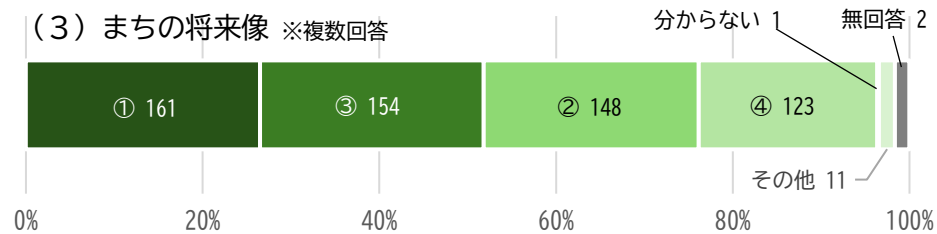
(1) 新庁舎整備を契機としたまちづくりの検討を進めていることについての認知度



(2) 民間活力を生かした跡地利活用について

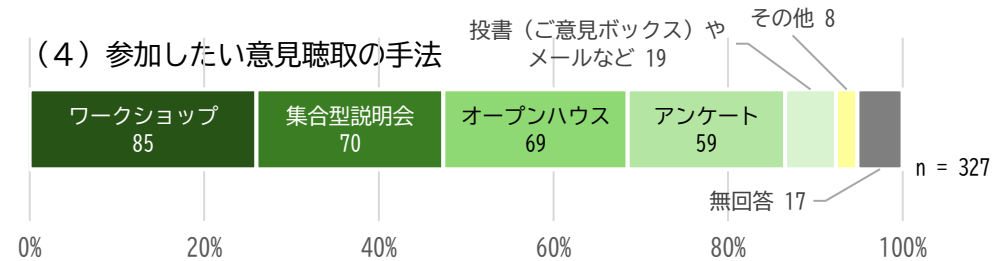


(3) まちの将来像 ※複数回答



- ① 国内外から多くの人が訪れ、賑わいが創出されるエリアになること
- ② 新たな価値や雇用が創出され、地域経済をけん引するエリアになること
- ③ 人々が憩い・交流できるようなエリアになること
- ④ 熊本の歴史・文化・風土等の個性を活かしたエリアになること

(4) 参加したい意見聴取の手法



【自由意見】

- ・講演を聞いて、行政と民間企業の協力がまちづくりに必要不可欠だと感じた。
- ・熊本の宝物をほり出し、ふさわしい出し方をして、他地域、地元を知ってもらい、楽しんでもらう場所をつくり続けて欲しい。
- ・これからの時代の変化を若い人達にしっかり伝えていくことが重要だと思う。その上で時代に対応できる未来への贈り物としてまちづくりを若者も一緒に考えていけるような取組みができるとよい。
- ・今後、熊本をより良くするためには熊本市だけでなく各エリアをつなぐ回遊性がすごく大事だと思う。
- ・2時間では足りないパネリストだった。もっと聞きたかった。
- ・市民向け目線と観光含めた経済的目線をきちんと意識した論理的な整理が必要。同時に、まちづくりには市民や企業などの地元意識が必要だと思う。いかに自分ごととして考えることができるかが肝だと思うので、そういう気持ちになれる機会があればいい。
- ・経済や観光（インバウンド）市民にとってもシンボル熊本城を最大限に生かさずに成功はないのでは？
- ・人が集まるためには、大きなハコ（ハード）を作るのではなく、広場やイベント（ソフト）を充実させる必要があると思う。昨今の建築費をふまえると、ハイブランドホテルの事業性を実現するためには、高さ制限を特例的に思い切って緩和するなど、これまでの既成概念、ルールにとらわれない取り組みが必要であると思う。